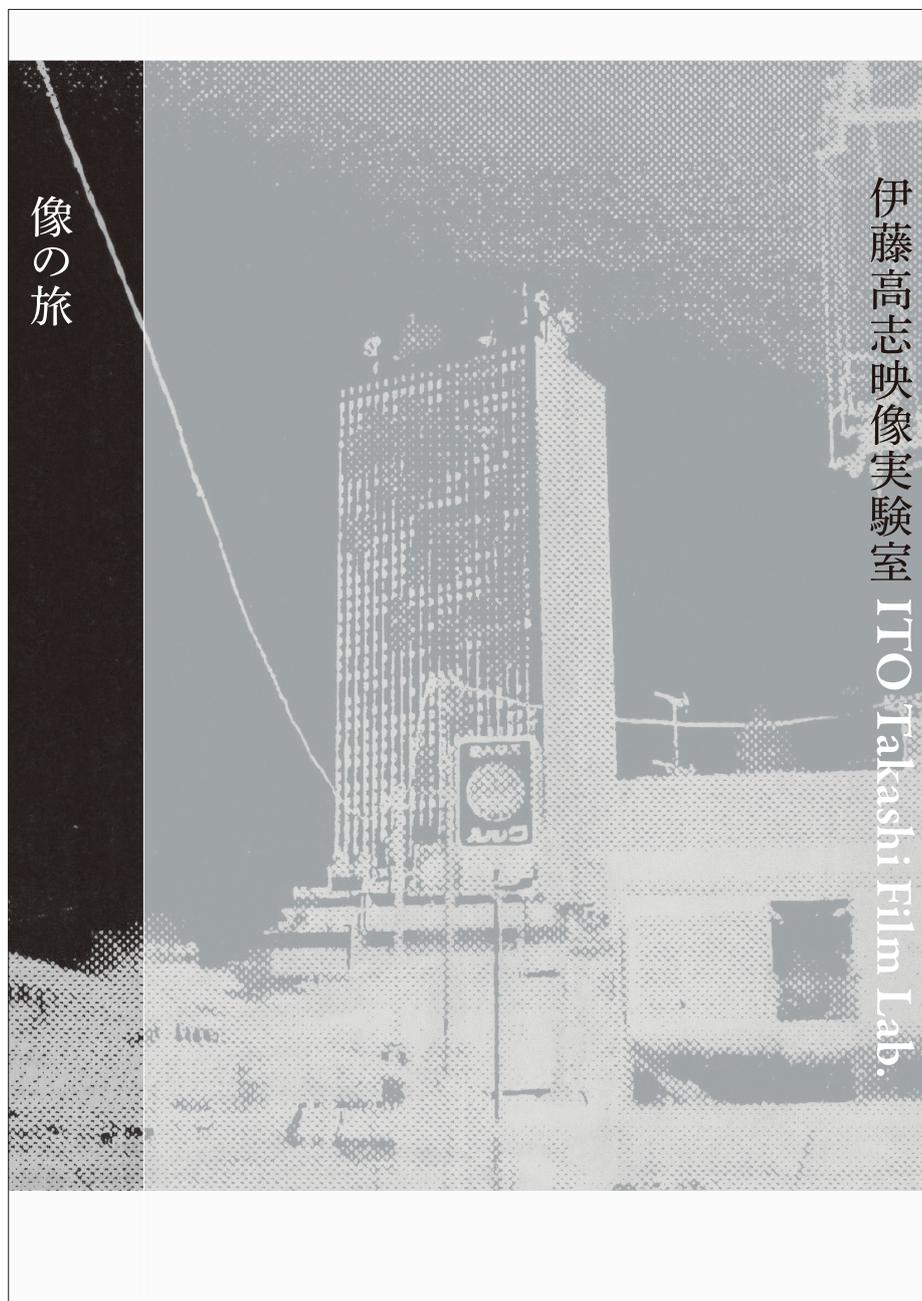


像の旅 伊藤高志映像実験室

2025年4月12日(土)～5月18日(日)



このたび田川市美術館は、「像の旅 伊藤高志映像実験室」展を開催します。

伊藤高志(1956-)は九州芸術工科大学学生時代の1981年に発表した『SPACY』で鮮烈なデビューを果たした日本を代表する実験映像作家です。コマ撮りや長時間露光を用いた独特なイメージやモーションは驚異的な「発明」であり、世界的に高い評価を受けてきました。伊藤高志がこれまで試みてきた斬新かつ実験的な表現を、実物の撮影装置や絵コンテや、スチール写真などの資料と実際の映像作品とともに提示します。

あわせて、会期中には初期作から最新作までの作品をピックアップした上映会を開催します。伊藤高志が創造する「動きの芸術」の世界を存分にお楽しみください。

本展のみどころ

①美術館での初個展！

国内外の多くの映画祭で作品が上映されてきた伊藤高志ですが、美術館での個展は初めての開催となります。美術館ならではの切り口で、劇場では見ることができない様々な角度から映像作家伊藤高志の魅力を紹介します。

②展示室いっぱいに広がる映像インスタレーション

中央展示室の上映展示はメディアアーティストの八嶋有司がシステムを設計。映像作品の『SPACY』『ZONE』『甘い生活』を、壁3面をスクリーンに見立て、大画面で上映します。

③伊藤作品、その映像制作のプロセスを紹介

ギャラリー A では、伊藤高志がこれまで試みてきた斬新かつ実験的な表現方法を、実物の撮影装置や絵コンテや、スチール写真などの資料と実際の映像作品を通して解説します。

④『SPACY』の撮影体験ゾーンで、あなたも伊藤高志に！

ギャラリー B では、九州芸術工科大学（当時）の体育館を広く使用した『SPACY』（1981年）の撮影の間合いを、1/1スケールで再現した撮影体験ゾーンを設けます。指定の位置からスマホで写真を撮って、それをつなげて動画にすると...あなたも伊藤高志になろう！

⑤初期作から最新作まで、映画上映会を開催

AVホールでは、毎週日曜日に映画のセレクション上映会を開催。最新作『遠い声』を含む映画13作品に、伊藤高志の初期作品をリミックスして制作されたMETAFIVEのミュージックビデオ『The Paramedics』を加えた、計14作品を上映します。

展示作品（一部）



『SPACY』（1981年/10分）



『ZONE』（1995年/12分）



『甘い生活』（2010年/23分）



カメラなどの撮影装置、スチール写真、絵コンテ、設計図など、10作品の制作資料を多数展示

セレクション上映会

初期の短編実験映画から、近年の長編劇映画まで、伊藤高志監督作品の中からピックアップした14本を毎週日曜日に上映します。

日時：毎週日曜日

会場：田川市美術館 AV ホール

参加料：無料（要当日観覧券・途中入退場自由）

定員：40名（申込不要）

上映プログラム

■ A 11:00 ～

『THUNDER』（1982年/5分）、『DRILL』（1983年/5分）、『GHOST』（1984年/6分）、『GRIM』（1985年/7分）、『悪魔の回路図』（1988年/7分）、『ミイラの夢』（1989年/5分）、『ビーナス』（1990年/4分）、METAFIVE『The Paramedics』（MV/2021年/5分）

■ B 12:00 ～

『モノクローム・ヘッド』（1997年/10分）、『めまい』（2001年/13分）、『静かな一日・完全版』（2002年/20分）

■ C 13:00 ～

『最後の天使』（2014年/33分）

■ D 14:00 ～

『零へ』（2021年/72分）

■ E 15:30 ～

『遠い声』（2024年/53分）

関連イベント

■ オープニングシンポジウム

パネリスト：伊藤高志、澤隆志、八嶋有司、藤本亜季

モデレーター：工藤健志

日時：4月12日（土）13:30～

会場：田川市美術館 中央展示室

参加料：無料（要当日観覧券）

■ 特別ワークショップ スマホでコマ撮り映像をつくろう！

伊藤高志氏を講師に迎え、スマートフォンを使用したストップモーション・アニメーションを制作します。

講師：伊藤高志（映像作家）

日時：4月29日（火）13:00～（3時間程度）

会場：田川市美術館 AV ホール

参加料：無料（要当日観覧券）

定員：10名 対象：中学生以上

持ち物：無料アプリ「Stop Motion Studio」をインストールしたスマートフォン

申込方法：電話申込／受付開始：4月5日（土）10:00～ Tel：0947-42-6161

作家略歴



伊藤高志 ITO Takashi

1956年福岡市生まれ。九州芸術工科大学在学中に、実験映像作家松本俊夫ゼミで制作した『SPACY』(1981年)でデビュー。以降、日本を代表する実験映像作家として数々の映像作品・映画を手掛ける。1999年、演出家の太田省吾とともに京都造形芸術大学(現・京都芸術大学)映像・舞台芸術学科の創設に関わり、ダンサーとの共同作業による舞台芸術作品も多数発表する。2016年からは九州産業大学芸術学部で教鞭を執った。主な作品に『ZONE』(1995年)、『最後の天使』(2014年)、『三人の女』(2016年)、『遠い声』(2024年)など。

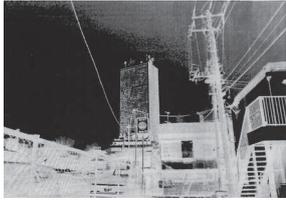
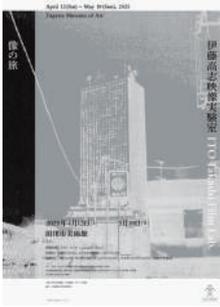
開催概要

- 展覧会名：像の旅 伊藤高志映像実験室
- 会期：2025年4月12日(土)～5月18日(日)
- 開館時間：9:30～17:30 ※入館は閉館の30分前まで
- 休館日：月曜日(ただし5月5日は開館)、5月7日(水)
- 会場：田川市美術館
- 観覧料：一般800円(700円) 高大生400円(300円) 小中生200円(100円) 未就学児無料
※()内は20名以上の団体および田川市在住者[要身分証明書]の料金
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介助者1名無料
※土曜日は高校生以下無料
- 主催：田川市美術館
- 作品提供：ダゲレオ出版
- 協力：九州産業大学 芸術学部
- キュレーション：澤隆志、藤本亜季
- システム設計：八嶋有司

画像の提供について

本展覧会の関連画像を、広報素材としてご提供いたします。
必要事項を記載のうえ、メールもしくはFAXでお送りください。

MAIL : museum@tagawa-art.jp FAX : 050-3385-0499

| | | |
|--|---|---|
| 1. <input type="checkbox"/>  伊藤高志『SPACY』1981年 | 2. <input type="checkbox"/>  伊藤高志『ZONE』1995年 | 3. <input type="checkbox"/>  伊藤高志『甘い生活』2010年 |
| 4. <input type="checkbox"/>  伊藤高志『悪魔の回路図』1988年 | 5. <input type="checkbox"/>  | |

御社基本情報

媒体名 (URL)

発行日/放送日

御社名

ご担当者

所在地

電話・メールアドレス (データ送付先)

プレスイメージ貸し出しに関する注意事項

1. 本展広報目的での使用に限ります。使用可能期間は本展会期終了までとなります。
2. 展覧会名、会期・会場名のほか、画像の使用時には指定するクレジットを必ずご掲載ください。
3. 作品画像は全図でご使用ください。トリミングや文字を重ねるなど画像の加工・改変はご遠慮ください。
4. WEBにてご掲載の場合には、コピーガードを施してご掲載ください。
5. 概要など確認のため、グラ刷り・原稿の段階でお送りいただきますようお願いいたします。
6. 掲載・放送後はお手数ですが掲載誌・同録DVDを1部ご送付願います。WEB媒体の場合は、掲載URLをお知らせください。

お問い合わせ：田川市美術館 〒825-0016 福岡県田川市新町11-56 TEL 0947-42-6161 FAX 050-3385-0499

広報担当：篠崎海成 学芸担当：藤本亜季